

OSI 7層ボード

1989年（平成元）、実用的な OSI 通信用ツールとしてパソコン用 OSI 5層ボードを開発したが、92年にはさらに7層すべての OSI プロトコル処理を実現した OSI 7層ボードを開発した。これらのボードを利用することにより、複雑な仕様をもつ OSI を、パソコンやワークステーション上で簡便に利用可能となった。これらのボードは KDD グループの株式会社オーエスアイ・プラスによって商品化され、郵便局や農協などのネットワーク構築に利用された。

出典：KDD 社史